

Abstract: 本研究では、高齢者の健康状態と様々な医療・介護サービスの購入とが短期的・長期的にどう関係しているのかを、自治体提供の医療・介護連結レセプトデータを利用して分析した。統計分析に際しては健康状態の指標としての要介護度と各サービスそれぞれの費用に対する Panel VAR モデルを構築し、インパルス応答関数による因果効果の推定を行った。また、VAR モデルにおいて現れる高次元次数選択問題に対しては、Stochastic Search Variable Selection によるベイズ縮小推定によって対処した。実証分析の結果、介護サービスは要介護度改善効果をほとんど持たないが、医療サービスには改善効果があるものもあり、また医療・介護をまたいで複雑なサービス利用のパターンがあることが示されたため、医療・介護の連携の重要性が示唆された。